



第21回通常総代会挨拶と退任のご挨拶

たきかわ農業協同組合 代表理事組合長 工藤 正光

第21回たきかわ農協通常総代会今期選任された総代188名に敬意申し上げます。

本来であればご来賓のご臨席を頂き、ご祝辞を賜る処であります。が昨今の状況と北海道中央会の指導の下に開催場所をJAたきかわ広域営農センターに、議決案につきましても書面による書面議決とさせていただきます。7日17時の締め切りで159通(84.6%)の提出を頂きました。

令和元年度の経過であります。積雪も少なく融雪が順調に進み、春作業、夏の生育も天候に恵まれまして全ての農作物が豊作傾向で収穫の秋を迎える事が出来ました。販売部取り扱い実績金額44.9億円、米穀出荷数量22万5千998俵(前年対比+4%)、10a当たり反収5.3俵、大豆(前年対比+5.8%)、反収3.7俵、ソバ(前年対比+3.03%)、反収1.6俵でありました。集荷場、調製施設のご利用に改めてお礼を申し上げます。

令和1年(第22事業年度)の決算内容であります。税引き前利益は計画8,246万円、当初決算見込み9,605万円を予定しておりましたが、今期から「みのり監査法人(公認会計士)」による監査実施の結果、子会社であります「JAたきかわサービス」の累積欠損金7,043万円を引当致しました。

「結果税引き前利益2,884万円となり税引き後利益806万円、繰越剰余金6,310万円、当期末処分剰余金7,116万

円。剰余金処分(案)といたしまして、利益準備金2,000万円、任意積立金759万円、出資配当金(0.5%)719万円残額3,638万円を次期繰越剰余金としてご提案を申し上げます。次期でございます。

令和2年度の計画であります。TTP協定や日EU・EPA、日米貿易協定の発効など経済のグローバル化が進展する中、農家戸数の減少や担い手の高齢化や労働力不足など、近年多発する自然災害、新型コロナウイルスと透明性が見えない環境で有りますがJAの英知と共同の輪をもって乗り越えなければなりません。農業生産基盤強化、スマート農業技術の実施などには、各行政関係機関と情報を共有しなければなりません。

安全安心な食糧供給と生活経営の安定を願い今年も豊かな出来秋を念じましてご挨拶と致します。

最後に長年に亘り支えて頂きました役員、職員の皆様と今期を以って退任されます瓜常務理事、吉村代表監事、吉野理事、六田理事に感謝を申し上げますと共に、常勤理事として21年間育てて下さいました、たきかわ農協にお礼を申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

第21回通常総代会

4月8日(水)午後1時30分よりJAたきかわ広域営農センターにおいて、第21回通常総代会が開催されました。

総代総数188名うち出席総代数は167名となりました。167名の内訳として、本人出席8名、代理出席0名、委任状0名、書面議決書159名。

開会宣言、JA綱領朗唱、組合長の挨拶のち、議長選任が行われました。議長選任では、仮議長一任との発言があり、仮議長である工藤組合長が、議長に平沢信二総代(江部乙)、山田昌毅総代(赤平)兩名を指名し、賛成により決定しました。

その後、議長の取り進めにより議事に入り、議案第1号から第10号まで、原案通り可決決定となりました。

組合員から寄せられた質問・意見等について

先般、地区別懇談会の開催中止にかかる代替措置として、組合運営についての質問・意見等を募集致しました。その結果、皆様から5件の質問・意見等が寄せられましたので、その内容及び回答を書面でありましてご報告させていただきます。

【質問】

○Aコープ赤平店の閉店について、10月にレジスターを更新したと思うが、店舗老朽化による閉店であるならもっと早くに閉店できなかったのか。